

# 年頭のご挨拶

## お慶びを申し上げます



上ノ国町長

工藤 昇

町民の皆様、新年おめでとう  
ございます。  
希望に満ちた輝かしい令和七  
年の初春を、ご家族お揃いで健  
やかに迎えのことと、心から  
お慶び申し上げます。  
私は、町民皆様の温かいご支  
援をいただき由緒ある上ノ国町  
の町長に就任以来、私の町政執  
行の基本姿勢でもあります「わ  
たしたち町民一人ひとりが現状  
を自覚し、そして一人ひとりが  
この町を変えるという意思を表  
してくる」ということを確信  
し、「行財政の見直しと改革を、  
議会、町民の皆様と手を携えて

推進して参りました。

この間、皆様からいただきま  
した深いご理解と、絶大なるご  
協力に対しまして心から感謝申  
し上げます。

さて、過ぎし令和六年を振り  
返りますと、元日には震度七の  
石川県能登半島地震が発生し、  
翌日には羽田空港において日航  
機と海上保安機が衝突し炎上す  
る波乱の年明けとなりました。

能登半島地震においては、地  
震や津波による家屋の倒壊や東  
日本大震災以来となる大津波警  
報が発令され、北海道から九州  
にかけ広い範囲で大小の津波が  
観測され、さらに、九月には、  
被災地に追い打ちをかけるよう  
に発生した豪雨による大きな被  
害は、度重なる自然の猛威に大  
変な苦勞を強いられ、住民と自  
治体は途方に暮れていると存じ  
ます。

一年経った現在においても、  
復興や生活再建は道半ばであり  
ますが、亡くなられた方々のご  
冥福をお祈り申し上げますと  
もに、そのご家族や被災された  
方々にお見舞い申し上げ、被災  
地の一刻も早い復旧、復興をご  
祈念いたします。

経済面では、政府の「デフレ  
完全脱却のための総合経済対策」  
と銘打って低所得者世帯への給  
付金、所得税・住民税の減税、

ガソリンの負担軽減、子育て支  
援などバラマキ型の経済対策感  
が否めず、政策に希望を持たな  
い状況にあります。

また、現在の日本はインフレ  
状態にあり、賃金は上昇してい  
るものの物価上昇に追いつかず  
家計が圧迫されている状態で、  
少子高齢化による労働力人口の  
減少など日本経済は先行き不透  
明な情勢となっております。

社会面では、国において様々  
な経済対策の支援を行って参り  
ましたが、効果が見られない状  
況の中で、自由民主党内の政治  
資金問題が発覚、組織の社長で  
ある総裁が責任を取るべく首相  
を退任、その後、自由民主党総  
裁に石破氏が選出され、第二十  
二代内閣総理大臣に任命、第一  
次石破内閣が発足し、衆議院解散  
総選挙が執行されました。

選挙の結果は、自由民主党が  
百九十一議席を獲得し、比較第  
一党を維持しましたが、自民公  
明による連立与党は二百十五議  
席で過半数を維持することがで  
きない状況の中で、第二次石破  
内閣が発足されました。

過去の発言や公約をみると、  
地方創生を日本経済の起爆剤と  
しつつ、東京一極集中を是正し  
て地方の持つ潜在力を最大化す  
るとしていることから、その方  
向性で政策が進むことを期待し